

教文

演フェス

KYOBUN ENGEKI FESTIVAL

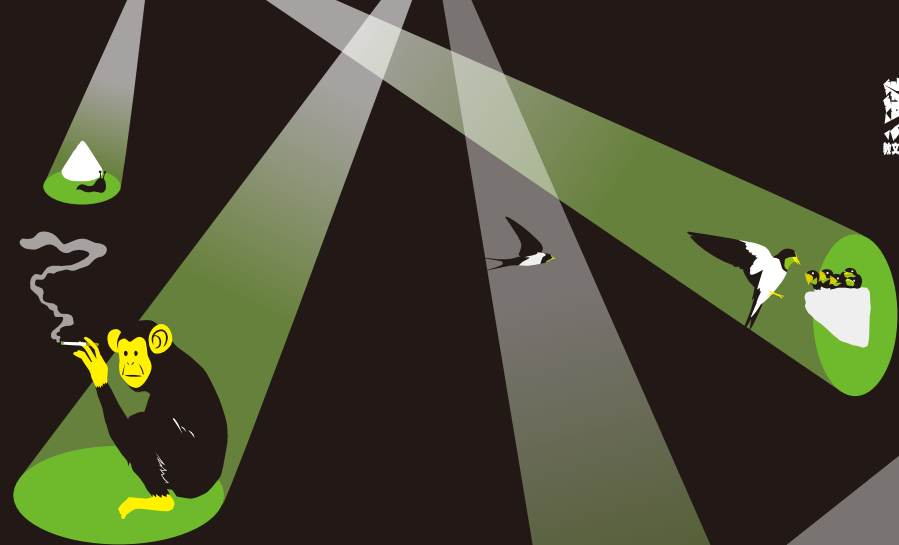
2015

[教文演劇フェスティバル 2015]

2015.7.25 [土] ▶ 8.27 [木]

テーマ

エン



教文短編演劇祭 2015

上演時間は20分・勝負の行方は観客&審査員投票
札幌の夏を彩る大会が、今年もアツい!!

道内外から集結した8つの劇団が対決する2回の予選で、20分以内の演劇作品を一挙上演! 観客投票
+審査員投票を行い、投票数第1位が決勝進出! 決勝戦では、昨年度チャンピオン「星くずロンリネス」と
劇作家協会東海支部の一連托生ユニット「東海連合」が待ち受ける…制するのは、果たして!?

予選 A ブロック

8月15日[土] 14:00~16:00 (開場は開演の30分前)

1,000円



Mike堂 [函館]

TORUS(トールス)
作・演出: 工藤 舞

トールス(torus)とは、多重連結空間、円環面のこと。最もありふれたトールスは、いわゆるドーナツ型。地球は丸く、時間は直線的に流れている世界から、一步逸脱したすぐそばに、ドーナツ型で円環的に時間が流れる世界が口を開けている。



楽園王 [東京]

錬金術師
作・演出: 長堀 博士

STAP細胞の研究者で知られる小○方○子さんを主役にした架空の物語。誰も現実の彼女を救うことも、影響力を及ぼすことも出来ないが、演劇には演劇的な救済の力があると思ひ、物語の力で、エン=縁が切れた彼女と社会との関係をプラスの意味へ再構築してみたい。



劇団アトリエ [札幌]

くされ縁

作・演出: 小佐部 明広

ケイスケの家。8年ぶりに病院で再会した高校の同級生が、ケイスケの家に遊びにやってきました。そのほかにももうひとり、高校時代のクラスのアイドル・まきちゃんも来るらしい。男二人はなにかと縁(エン)があるようで、高校時代から行動や服装などが「かぶる」らしい……。



イチニノ [茨城]

第1回全日本もう帰りたい選手権

作・演出: 前島 宏一郎

全国の会員が「もう帰りたい!つぶやきで競い合う!全日本もう帰りたい選手権」に参加することになった3人の人生を猛スピードで生中継。無駄にハイスピードな展開、無駄にハイプレッシャーな陰謀、無駄にハイエモーションな人間関係を円を描いて炎上する。「超高速大回転エモーションナル・エンジン・シアター。」

予選 B ブロック

8月15日[土] 18:00~20:00 (開場は開演の30分前)

1,000円



くしろ高齢者劇団 [釧路]

アカシヤの花が咲いていました

作・演出: 佐藤 伸邦

古今東西、永遠の課題である「嫁・姑」の問題に焦点を当て、平均年齢67歳の「くしろ高齢者劇団」がその問題を鋭く探ります。登場する2組の夫婦。それぞれの環境の中で、嫁達と姑が繰り広げる悲喜こもごも「嫁・姑」物語。「縁」に結ばれたそれぞれの運命は如何に。



無名劇団 [大阪]

無名稿 あまがさ

作: 中條 岳青 演出: 島原 夏海

「ウワサはいつしかリアルを超える」—何も語らない男女と、2人を取り巻く人物たちとの物語。二人がなぜ死んだのか。周囲の言葉によって矢継ぎ早に語られる話は、果たして事実か、それとも嘘か。川端康成「雨傘」を用いてメディア社会を表現する、これぞ新感覚リアリズム演劇。



劇団しろちゃん [札幌]

どうぶつえん

作・演出: 菅谷 元

2015年現在、地球上に約70億頭棲息している動物、「ヒト」。だけど動物園に「ヒト」の檻はない。ヒトは「ヒト」を動物園には入れない。でも、ヒトが一番好きな動物は、ライオンでもゾウでもペンギンでもなく、ヒトだと思ふのです。



わんわんズ [札幌]

人の命に関わる話

作・演出: 田中 春彦

道端に置かれたひとつのダンボール。なんで、こんなところに置いてあるんだろう? 中には何が入っているんだろう? 何か、危険な物でも入っているんだろうか? だとするとあんまり、近づかないほうがいいんだろうか? そんなことを考え始めると、キリがないんですね。

決勝

1,600円

8月16日[日] 14:00~17:00 (開場は開演の30分前)



予選Aブロック
1位の劇団



予選Bブロック
1位の劇団



前年度チャンピオン
星くずロンリネス



鹿目由紀率いる
東海連合

教文短編演劇祭2014 チャンピオン

ビーブルズショートチャンピオン・上田龍成ひとりぼっちユニット

星くずロンリネス

本命キラー
—あきちゃんのです、プログラー

作・演出: 上田 龍成

最近知り合ったあきちゃんのブログは未来を予知するものだった。ある男はそのブログを利用しようとするが… 奇妙なブログと数千円を賭けたその円形のお話—そのエンはある男の一生を狂わせた。



鹿目由紀率いる「東海連合」

東海連合とは、劇王天下統一大会2015での上演の為に結成された、劇作家協会東海支部の一連托生ユニット。

東海連合

海獣日和

作: 長谷川 彩「劇団さよなら」

演出: 鹿目 由紀「劇団あおきりみかん」

晴天の下、プールサイドで水泳の授業を見学する二人。半年前に転校してきた戸田をやたら気にかける岸本。しかし戸田は、「自分とは距離を置いた方がいい」と岸本に告げる。去年の思い出と傷を負ったまま、義務教育最後の夏、二人の縁が海へ帰るまでのお話。



教文短編
演劇祭2015
の流れ



チケット | 6月26日[金] 発売開始

予選 各1,000円 決勝 1,600円
全席自由 (教文ホールメイト 1,100円)

セット(各15枚限定) 各2,000円 教文プレイガイドのみ発売
(予選A+決勝)・(予選B+決勝)

[チケット取扱]

●教文プレイガイド：011-271-3355 ●大丸藤井プレイガイド：011-221-3900
●ローソンチケット：0570-000-777(Lコード 14964)

ゲスト審査員

岸正人

[あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)支配人]



黒テント「赤い教室」出身。1986～96年青山スパイラルホールにて運営と演劇・ダンスの制作に携わる。以後、世田谷パブリックシアターを経て、山口情報芸術センター(YCAM)、神奈川芸術劇場(KAAT)の開設準備及び開館後の企画制作と劇場運営を担い、2012年4月より現職。柄にもなく玉川大学パフォーマンス・アーツ学科非常勤講師。

棚田 満

[演出家・劇作家・役者/劇団怪獣無法地帯]



札幌の劇団「劇団怪獣無法地帯」主宰。演出家・劇作家・役者。多くの役者が登場するドタバタのコメディに定評がある。教文短編演劇祭2008年には演出を、2009年には作・演出を手掛けて参加し、2連覇を果たした。また笑劇一座公演においては2010年から13年まで4作品の作・演出も手がけ、笑って泣ける笑劇一座の新境地を開拓した。

橋口 幸絵

[劇作家・演出家/劇団千年王国代表]



劇団旗揚げからほぼ全作品の脚本・演出を担当。日本演出者協会会員。札幌大谷大学非常勤講師。近年は市民ミュージカルや子供オペレッタの演出、NHK・BSプレミアムドラマの脚本など幅広く活動中。2012年より札幌座のディレクターとして活動を開始し、若手育成公演の演出を手がける。また、自らも役者として出演している。

司会

剣崎 薫

[「帝国の白いカルト」脚本・演出・総監督]



札幌在住シュルレアリスト。イベントMC、パフォーマー、脚本家、演出家、役者。超現実主義を命題に表現活動を行う。

ワークショップ

初心者も未経験者も受けて
楽しいワークショップ

7月25日[土]・26日[日] 14:00～(両日とも)

教文演劇フェスティバル実行委員長である齊藤雅彰氏による演劇未経験者、初心者にも、その面白さを体験してもらい、演劇をより深く楽しんでもらえるワークショップです。



講師	齊藤 雅彰
参加費	1,000円(2日間)
会場	札幌市教育文化会館 練習室B
定員	12名(先着順)

高校生演劇
「転校生」
ワークショップ・オーディション

8月1日[土]・2日[日]・6日[木]・9日[日]
14:00～18:00 (4日間)

平田オリザの初期傑作戯曲「転校生」を題材に、劇団千年王国の橋口幸絵とダンサー、振付師の櫻井ヒロによる平成28年3月小ホール公演のオーディションを兼ねた高校生ワークショップ・オーディションです。



講師	橋口 幸絵・櫻井 ヒロ
受講料	1,000円(4日分) ※1日のみ参加の場合も同額。
会場	研修室 401
対象	(原則として)札幌市内近郊在住の女子高校生、演劇・ダンスに興味がある方
定員	20名(先着順)

7月31日(金)募集締切

小ホール公演

『帝国の白いカルト』

8月25日[火] 19:00
26日[水] 14:00 / 19:00
27日[木] 19:00

※開場は30分前

主人公はどこにでもいる普通の女性、佐藤詩織。ひょんなことから友人に誘われて「光の帝国」という宗教団体の集会に行くことになってしまった彼女。一癖も二癖もある役員や信者達に巻き込まれつつも彼等の「信仰」に触れ詩織に少しずつ変化が訪れる。自分の守りたい物のために何を信じて行動するのか。自らの願いを叶えようとする者の強い力に巻き込まれていく人々。衝撃の結末は悲劇か、喜劇か。乞うご期待。

脚本・演出・総監督/剣崎 薫

出演/原田 充子(Real I's Production)、脇田 唯(POST) ほか

[料金] 一般前売 1,800円 学生前売 1,500円 中学生以下前売 1,000円
未就学児童無料 ※当日券は各200円UP ※教文ホールメイト各300円引

[問合せ] 090-6878-2505 (K4)



教文演劇セレクション

『気づかいルーシー』

9月18日[金] 19:00
19日[土] 11:30

主人公のルーシーと、育ての親のおじいさん、その馬が互いに気づかいすぎるあまり引き起こす残念な大騒動。ルーシーは王子さまと幸せに結ばれるのか？あの松尾スズキの絵本が、なんと音楽劇に！

原作/松尾 スズキ 演出/ノゾエ 征爾
出演/岸井 ゆきの、栗原 類、山中 崇、小野寺 修二 ほか
会場/小ホール

[料金]
全席自由 3,000円(教文ホールメイト・KitaraClub会員 2,500円)
※7月22日[水]より教文ほか市内各プレイガイドにて発売予定



岸井 ゆきの 栗原 類

教文演劇フェスティバルとは

毎年夏に札幌市教育文化会館がお贈りする演劇の祭典、通称「演フェス」。演劇を観たことがない人でも十分に楽しめる「短編演劇祭」を中心に、初心者から経験者まで参加できるワークショップ、注目の劇団の公演も勢ぞろい！今年も親しみやすい内容と料金で、皆様のお越しをお待ちしております！！

今年のテーマ「エン」について

今回のテーマは「エン」。それは、縁かもしれないし、円、あるいは演がもしません。短編演劇祭では参加劇団によるそれぞれの「エン」を上演します。



ツイッター公式アカウント
@en_fes絶賛つづがき中



Facebook

「教文演フェス2015」情報更新

教文演劇フェスティバル2015 公式ホームページ

<http://kyobun.org/enfes2015/>

[会場]

札幌市教育文化会館

札幌市中央区北1条西13丁目

未就学児入場不可。車椅子にてご来場の方は前日までに教育文化会館事業課までご連絡、ご相談ください。

[交通機関]

- ◎地下鉄／東西線「西11丁目」駅(1番出口)から徒歩5分
- ◎JRバス・中央バス／「北1条西12丁目」バス停から徒歩1分
- ◎市電／「西15丁目」から徒歩10分

※お客様用駐車場はございません。

車でお越しの際は、お近くの有料駐車場をご利用ください。



アフターパーティ!

(教文演劇フェスティバル交流会)

[日時] 8月16日[日] 19:00 start (18:30から受付)

[会場] ロイトン札幌 パーティスペース キャッスル(1F)

札幌市中央区北1条西11-1

※札幌市教育文化会館から徒歩2分

[料金] 3,000円 (短編演劇祭チケット所持者 2,500円)

2Drink 軽食付。 ※当日会場にてお支払いください。

アフターパーティを開催!

短編演劇祭の出場チームや審査員、演劇フェスティバル実行委員やスタッフなどが一堂に会す立食パーティです。審査員や参加団体の、ここでしか聞けないウラ話も! 演フェス参加者だけでなく、一般の方の参加も大歓迎です。ぜひお気軽にご参加下さい!

◎問い合わせ

札幌市教育文化会館事業課(011-271-5822)



教文演劇セレクション

札幌市教育文化会館では、プロセニウム形式、一部可動式の客席等の劇場機構を備えた大・小二つのホールを活かし、現代演劇の数々を紹介しています。今年度の演劇ラインナップもどうぞご期待ください。

●教文演劇フェスティバル2015「教文短編演劇祭2015」

8月15日(土)14時/18時開演(予選)
16日(日)14時開演(決勝戦)
小ホール

●松尾スズキ原作「気づかいルーシー」

9月18日(金)19時開演・19日(土)11時30分開演 小ホール

●ラサール石井演出 ミュージカル「HEADS UP!」

12月3日(木) 大ホール

演フェス実行委員募集中!

※詳細は下記事務局までお問い合わせ下さい。

[お問い合わせ]

教文演劇フェスティバル実行委員会事務局 (札幌市教育文化会館 事業課内)

TEL 011-271-5822 FAX 011-271-1916 [電話受付時間 10:00~17:00] 第2第4月曜日 [Mail] en_fes_mail@yahoo.co.jp

主催:札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、教文演劇フェスティバル実行委員会 後援:札幌市、札幌市教育委員会 協力:日本劇作家協会北海道支部



札幌市教育文化会館